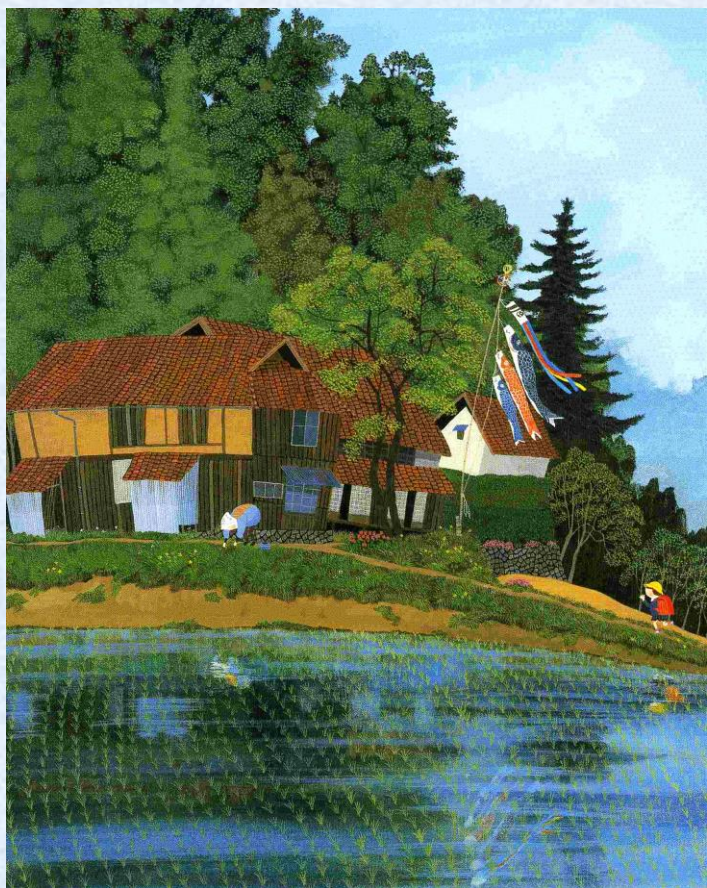


原田泰治 絵画の世界



「ただいま」(広島県芸北町、現・北広島町)

© Taiji Harada

平成 29 年

8月18日(金)～8月27日(日)

地震大国・日本。

地震に限らず風水害など、さまざまな自然災害に見舞われることがあります。

その自然災害からの復興というのは、建物や周辺の見ただけが元に戻ればいいのではなく、心の復興も必要です。

そのために果たす絵画のチカラを感じてもらおうべく、このたび、原田泰治氏のピエゾグラフ*作品14点を、新潟県からお届けします**。

日本の原風景を感じ、そして、ふるさとを思っていたくきっかけになることを願っています。

*ピエゾグラフは“高精細複製画”ですが、今回展示する作品は、原田泰治氏が監修し、完成後に自身がサインした、まさに「原田泰治作品」と言えるものです。

**ご覧いただくピエゾグラフ作品は、新潟県中越大地震の後、「いつでも復興に使えるように」と、長野県諏訪市から新潟県に寄贈されたものです。

■会場：二本松市市民交流センター
3階 市民ギャラリー

■時間：9：00～17：00

■休館日：8月21日(月)

■入場料：無料

■交通：JR二本松駅から徒歩1分
東北自動車道・二本松ICから
車で約5分

主催：新潟県立歴史博物館

新潟県立歴史博物館友の会

共催：子どもに音楽を贈る会

まちづくりNPO新町なみえ

浪江町石倉復興団地自治会

後援：二本松市教育委員会

二本松市市民交流センター

〒964-0917 福島県二本松市本町2-3-1

TEL 0243-24-1215 FAX 0243-24-1216

絵画展開催にあたって

「しあわせ運べるように」(作詞作曲 臼井 真)

♪地震にも負けない強い心を持って 亡くなった方々の分も毎日を大切に生きていこう
♪傷ついた神戸(福島)を もとの姿にもどそう
♪支え合う心と明日への希望を胸に
♪響きわたれ僕たちの歌
♪生まれ変わる神戸(ふるさと)の街に
♪届けたい私たちの歌 しあわせ運べるように

…今から23年前、阪神・淡路大震災がありました。当時30代だった神戸の小学校音楽教師臼井真先生は自宅も全壊。壊滅的な被害を受けた神戸の様子に強い衝撃を受けながらも、頭に思い描いた詩とメロディーを親戚の家にあった広告の裏に書き留めた歌が「しあわせ運べるように」です。この歌は長い年月が経った今でも神戸の子どもたちによって歌い継がれ、未だに苦しむ人々の心を支えています。

私たちがこの歌に出会ったのは、東日本大震災があった年の6月でした。当時私たちがおかれていた現実の中、このストレートな歌詞はなかなか素直には受け入れられず、嫌悪感さえ覚えました。しかしながら、目の前の子どもたちと前に進もうと決心したとき、心を支える中核となりうるのはこの歌しか考えられなかったのです。この歌に出会ったときに感じた嫌悪感は、当時おかれた現状に、ややもすると負けてしまいそうな自分たちの気持ちを見透かされているように感じたことから、生まれたものだったのかもしれませんが。それ以来歌詞の一部を「福島・ふるさと」に変えて歌わせていただいております。

東日本大震災があった翌年秋、二本松市立杉田小学校合唱部で近くの仮設におじゃまいたしました。子どもたちの歌や出し物の最後に「しあわせ運べるように」を仮設の方々の中に座らせていただきながら歌わせていただきました。孫に似ていると話しかけながら子どもの頭をなでてくださいる方、「しあわせ運べるように」の歌詞を教えながら共に歌おうとする子どもの声に泣いてしまう方、「傷ついた福島をもとの姿にもどそう」という歌詞を歌いながら声を震わせる自治会長さん・・・みなさんが「まるで福島のために作られた歌のようだ」と異口同音に話してくださいました。その時の言葉に表すことのできない空気感は、その後の私たちの生き方をも変えました。

その後二本松市と浪江町の有志によって子どもに音楽を送る会が結成。その中の合唱団として「福島しあわせ運べるように合唱団」が生まれました。オーケストラとコラボさせていただく秋の子どもに送る音楽会を中心として、県内はもとより神戸・川崎・多摩・長岡などでたくさんの方々のお力添えにより歌や劇を見ていただける機会をいただいております。

特に、今年平成29年3月19日と20日に、長岡市内5ヶ所において、コンサートやシュプレヒコール劇「うけど小学校物語」を観ていただきました。その中の一つである新潟県立歴史博物館においても、多数の方の観覧をいただきました。私たちが観ていただいた方の温かさに深くふれ、あらためて自分たちのなすべき方向性を再確認させていただく時間となりました。

今回、私たちの未成熟な声に新潟県立歴史博物館の方々がお気持ちを向けてくださり、この様なすばらしい絵画展を、ここ二本松市で開いていただけることに心から感謝申し上げます。また、絵画展開催の中で私たちの発表の場も与えていただけることにも重ねて感謝申し上げます。

私たち「福島しあわせ運べるように合唱団」は、今後も震災を生きた多くの方々にお会いし、学ばせていただきながら、『私たちが大人になるときにどう生きていけばいいのか。』というテーマに、その学びを反映させながら、聴いてくださる方々の前に立たせていただこうと考えております。

この度は本当にありがとうございます。



子どもに音楽を送る会・福島しあわせ運べるように合唱団一同

福島しあわせ運べるように合唱団ギャラリー・コンサート

日時 平成29年8月18日(金) 14:00～

場所 二本松市市民交流センター 市民ギャラリー内 (二本松市本町2丁目3-1) Tel.0243-24-1215

曲目 笑顔の向こうに (作詞:たかいちづ 作曲:臼井 真)

群青 (作詞:福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生 作曲:小田美樹)

しあわせ運べるように (作詞 作曲:臼井 真)

ほか